

令和 6 年 6 月 21 日現在

機関番号：34503

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2023

課題番号：17K17495

研究課題名(和文)慢性疾患患者がいる家族と看護師の家族コンコダンス達成力アセスメントモデルの開発

研究課題名(英文) Development of an Assessment Model for the Family Concordance Competency of the Nurses and Families with Patients Having Chronic Diseases

研究代表者

高谷 知史 (Takatani, Satoshi)

大手前大学・国際看護学部・准教授

研究者番号：90757303

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文)：慢性疾患をもつ患者を含む家族による効果的な療養管理を実現するために、家族と医療職者の関係性という新たな視点から「家族コンコダンス達成力アセスメントモデル」を開発した。コンコダンスに関する文献検討に加えて、家族および医療職者の双方へのインタビュー調査の結果をふまえた分析を行うことで、家族コンコダンスならびに、家族と看護師それぞれを対象とした家族コンコダンス達成力の構成要素、影響因子、帰結を明らかにした。これらを家族同心球環境理論に準拠した家族ケア/ケアリングモデルに演繹的に統合することによって、家族コンコダンスならびに家族コンコダンス達成力を包括的にアセスメントすることを可能にした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

当モデルを活用することで、包括的に家族ならびに医療職者がもつ家族コンコダンス達成力をアセスメントすることを可能にし、それらを向上するための家族コンコダンス教育プログラムや家族支援モデルの開発が期待できる。家族コンコダンスを達成することで、患者・家族のQOLの向上、看護師による家族支援能力の向上、家族による効果的な療養管理によって長期的な国民医療費の抑制等にも寄与できる。  
\* コンコダンスとは、療養管理の方法や方針を決定する際、お互いの知識や経験、価値観、ライフスタイル等を尊重しながら対等な立場で話し合う、患者・家族と医療職者間のパートナーシップに基づくコミュニケーション方法

研究成果の概要(英文)：I developed the "Assessment Model for Family Concordance Competency" from a new perspective of the relationship between families and health care professionals in order to realize effective care management by families, including patients with chronic diseases. In addition to a literature review on concordance, I analyzed the results of interviews with both families and health care professionals to clarify the components, influencing factors, and consequences of family concordance and the ability to achieve family concordance for families and nurses, respectively. By deductively integrating these into a family care/caregiving model based on the Concentric Sphere Family Environment Theory, a comprehensive assessment of family concordance and the ability to achieve family concordance was made possible.

研究分野：家族看護学

キーワード：家族コンコダンス 慢性疾患 セルフマネジメント 家族看護 アセスメントモデル 家族の合意形成 パートナーシップ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

近年、わが国では医療技術の進歩による功績の一方で、慢性疾患や慢性症状、医療的な管理などを抱えたまま地域で生活する患者が増加している。そのような患者や家族を支援する立場にある看護師は、家族が上手く療養管理をできるように家族支援を行う必要がある。これまで、慢性疾患をもつ患者やその家族の治療・療養管理では、コンプライアンス(医療職者による指示・指導を遵守すること)が重要だと考えられてきたが、近年では、患者と医療職者とのコンコーダンス(調和・協調)という両者の関係に着目することが重要であると考えられてきている。コンコーダンスとは、療養管理の方法や方針を決定する際に、お互いの知識や経験、価値観、ライフスタイル等を尊重しながら対等な立場で話し合う、患者・家族と医療職者間のパートナーシップに基づくコミュニケーション方法のことである。このコンコーダンスの考え方に基づいた家族看護では、患者を含む家族と医療職者がパートナーシップを形成し、両者の間で協働して合意形成された治療方針などに家族が主体的に取り組めるように支援することが重要な課題である。したがって、患者を含む家族と医療職者のコンコーダンスを達成するために必要な双方の姿勢、態度、能力、スキル(「家族コンコーダンス達成力」と呼ぶ)およびそのコンコーダンスの状態を客観的にアセスメントすることは重要であると考えられる。とくに、家族を支援する立場にある看護師が備えるべき家族コンコーダンス達成力においては、看護師を対象とした「看護師自身の家族コンコーダンスを達成するための力」に加えて、さらに家族を支援対象とした「家族による家族コンコーダンスの達成を支援する力」の2つの視点から家族コンコーダンス達成力を捉える必要がある。

研究代表者は、家族のコンコーダンスおよび家族がもつ家族コンコーダンス達成力の概念を明らかにしてきた。この成果を基盤として、家族がもつ家族コンコーダンス達成力を客観的にアセスメントするための、慢性疾患患者・児がいる家族を対象とした家族コンコーダンス達成力尺度 FCCS-F (Family Concordance Competency Scale for Family) を開発した。

## 2. 研究の目的

本研究では、慢性疾患患者・児を含む家族と看護師間におけるコンコーダンス(家族コンコーダンス)の達成を目指し、そのような家族と看護師の家族コンコーダンスの達成に必要な双方の姿勢、態度、能力、スキル(家族コンコーダンス達成力)をアセスメントするためのモデルを開発することを目的とした。

## 3. 研究の方法

研究対象は、地域で生活する慢性疾患患者・児がいる家族ならびに、そのような家族を支援する看護師を対象とした。家族および看護師への半構成的インタビュー調査にあたって、研究対象者への倫理的配慮の手続きを厳守して研究を実施した。

### (1) 「家族を対象とした家族コンコーダンス達成力アセスメントモデル」の開発

国内外のコンコーダンス関連資料の文献検討、既存の家族インタビューの逐語録の再検討、過去の研究成果、専門家会議によって、家族がもつ家族コンコーダンス達成力の影響因子を抽出した。

### (2) 「看護師を対象とした家族コンコーダンス達成力アセスメントモデル」の開発

訪問看護師を対象とした半構成的インタビュー調査、専門家会議によって、訪問看護師がもつ家族コンコーダンス達成力の構成要素、帰結(効果)と影響因子を抽出した。

### (3) 「家族コンコーダンスアセスメントモデル」の開発

家族同心球環境理論に基づく家族ケア/ケアリングモデルの枠組みを用いて、帰納的かつ演繹的に上記(1)(2)を統合し、「家族コンコーダンスアセスメントモデル」を構築した。

## 4. 研究成果

### (1) 「家族を対象とした家族コンコーダンス達成力アセスメントモデル」の開発

家族がもつ家族コンコーダンス達成力の影響因子は、家族因子、医療職者因子、社会環境因子の3つに分類された。家族因子は【家族員の態度】【家族内のコミュニケーション】【家族員個々の特性】、医療職者因子は【家族員への医療職者の態度】【医療職者が抱える家族支援への困難感】【医療職者の特性】、社会環境因子は【医療機関の環境】【標準的な医療ケアシステムの方針】【多様な文化背景】からそれぞれ構成されていた。それらの影響因子の視点からアセスメントすることによって、各構成因子を除外したり促進したりするような家族看護計画を立案・実践することができるようになり、家族コンコーダンスの達成・構築につながる。

( 2 ) 「看護師を対象とした家族コンコーダンス達成力アセスメントモデル」の開発

看護師がもつ家族コンコーダンス達成力は、【家族の困り事への気づき】【家族目標の設定】【家族環境アセスメントと家族支援】【家族環境の整備】【家族評価】【中立的な橋渡し】【家族内部環境アセスメント】【訪問看護師の重責感】【訪問看護師間のコーピング】【多職種協働のファシリテート】で構成されていた。それらのプロセスに影響する因子としては、【家族員間での医療や介護への遠慮】【家族の介護力への否定的な思い込み】【家族への過度な指示的態度】【家族との情報共有のシステム化】【介護・福祉職の積極的な意見姿勢】等が挙げられ、それらの視点から看護師の家族コンコーダンス達成力をアセスメントすることによって、各構成因子を除外したり促進したりするような看護師の教育計画を立案・実践することができるようになり、家族コンコーダンスの達成・構築につながる。そして、それらの家族コンコーダンス達成力のプロセスを実践することによって、【利用者が主体的に生活行為を行うようになる】【家族が主体的に考え行動するようになる】【家族が訪問看護師を信頼し利用者を任せる】【家族が主体的にアセスメントして介護に参加する】【訪問看護師が家族の希望に添い続ける忍耐力を得る】【医療職者と介護職間での情報共有ができるようになる】などの患者・家族、訪問看護師、医療・介護・福祉職の行動変容に関する効果が得られていた。

( 3 ) 「家族コンコーダンスアセスメントモデル」の開発

家族を対象とした過去の研究から、家族コンコーダンスの構成要素として、【家族と医療職者間における協働】【対等な関係の構築】【知識と価値観にもとづくやりとり】という家族と医療職者間における事象、【家族内における協働】【家族の意思決定】という家族内部における事象、【医療職者間における協働】という医療職者間における事象が明らかになっている。そこに、上記( 1 )( 2 )で同定された家族コンコーダンス達成力の構成要素や影響因子、帰結を統合することによって、家族ケア/ケアリング( 家族と医療職者がお互いに影響し合うことによるウェルビーイングの達成 )に則した家族コンコーダンスを包括的にアセスメントすることができる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 3件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Satoshi TAKATANI, Junko HONDA, Naohiro HOHASHI	4. 巻 -
2. 論文標題 Development and Psychometric Testing of a Family Concordance Competency Scale for Families with Children Having Chronic Illness	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japan Journal of Nursing Sciences	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/jjns.12419	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 高谷知史, 本田順子, 法橋尚宏	4. 巻 24
2. 論文標題 家族システムユニットと医療職者における家族コンコーダンスの構成要素：慢性疾患患者・児がいる家族への半構造化面接の内容分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 家族看護学研究	6. 最初と最後の頁 142-155
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 耿小萍, 高谷知史, 法橋尚宏	4. 巻 23
2. 論文標題 家族ストレスへの影響因子およびその支援策に関する文献検討	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 家族看護学研究	6. 最初と最後の頁 84-96
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計6件（うち招待講演 0件／うち国際学会 6件）

1. 発表者名 Satoshi Takatani, Junko Honda, Naohiro Hohashi
2. 発表標題 The Influence Factors of Family Concordance between Families and Health Care Providers: Content Analysis of Semi-structured Interviews with Families Having a Chronically Ill Patient
3. 学会等名 16th International Family Nursing Conference（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Satoshi Takatani, Junko Honda, Naohiro Hohashi
2. 発表標題 Components of Family Concordance as Involves the Family System Unit and Medical Professionals: Content Analysis of Semi-structured Interviews with Families in Which a Member Has a Chronic Illness
3. 学会等名 14th International Family Nursing Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satoshi Takatani, Naohiro Hohashi
2. 発表標題 FAMILY NURSING SKILLS FOR BUILDING FAMILY CONCORDANCE BY VISITING NURSES SUPPORTING FAMILIES OF PATIENTS WITH CHRONIC DISEASES
3. 学会等名 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satoshi Takatani, Naohiro Hohashi
2. 発表標題 "Patient's Families" and "Nurses" - How Do They Mutually Build the Caring Relationship in Promoting the Quality of Patient's FoC?
3. 学会等名 9th International Learning Collaborative(ILC) Annual Conference and Summit 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
連携研究者	本田 順子	兵庫県立大学・地域ケア開発研究所・教授	
	(Honda Junko)		
	(50585057)	(24506)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
連携研究者	法橋 尚宏  (Hohashi Naohiro)  (60251229)	神戸大学大学院・保健学研究科・教授     (14501)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関